

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	050101040200		事業の種類	2		
年度	23	事務事業名	再開発住宅管理事業		予算事業名	再開発住宅管理事業 重要度 3		
まちづくり目標		自然と共生した快適に定住できるまち		担当部局名	建設経済部建設管理課			
施策名(中)		秩序あるまちづくりを推進する		担当課長	岸本 光義		担当者名	宇久 勝志
取組み事項		定住促進と居住水準の向上を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		再開発住宅管理事業			再開発住宅管理事業			
根拠法規及び関連法規		相生駅南再開発住宅条例・相生駅南再開発住宅条例施行規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	誰(何)を対象として	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	事業区域内の住宅困窮者及び仮住居者のために、生活する住居を提供し、その住居を維持管理する。						
事業の全体年度		事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した相生駅南再開発住宅において、入居者の選定から建物の維持管理まで行う。					
活動実績	項目	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度計画	
	再住維持管理費	千円	3,100	2,627	2,257	2,390	
	再住家賃収入	千円	17,984	19,219	20,485	20,108	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		21年度決算	22年度決算	前年比	23年度決算	前年比	24年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.025	0.026	104	0.024	92	0.026	108	
	参事以下職員	0.097	0.097	100	0.100	103	0.100	100	
	臨時職員	0.050	0.050	100	0.052	104	0.052	100	
支出内訳	人件費	1,117,356	1,123,464	101	1,226,928	109	1,230,044	100	
	事業費	3,100,044	2,626,532	85	2,257,004	86	2,390,000	106	
	合計	4,217,400	3,749,996	89	3,483,932	93	3,620,044	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	17,983,500	19,219,050	107	20,053,000	104	20,108,000	100	
	一般財源	-13,766,100	-15,469,054	112	-16,569,068	107	-16,487,956	100	
合計	4,217,400	3,749,996	89	3,483,932	93	3,620,044	104		

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目	21年度	22年度	23年度	24年度	
全体進捗率	事業費累計				進捗率
	進捗率				

4 評価指標

【有効性】

指標名1		再開発住宅入居率							
指標説明(式)		入居戸数(各年度末)／全戸数×100							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	93.3	96.7	103.6	100	103.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		再開発住宅収益率							
指標説明(式)		再開発住宅家賃収入／再開発住宅維持管理費×100（100%以上が健全経営とする）							
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
%	目標			-	854	-	841	98.5	
	実績	580	732	126.2	908	124.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	21年度	22年度	前年比	23年度	前年比	24年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(23年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性			
有効性	成果目標(改善)達成度	入居者が退去した後の空部屋を有効利用するため、公募による一般入居を行い、入居者の増加を図った。	5
効率性	コストの節減	同一箇所の修繕が各部屋に多数発生している状況の中、緊急性等を考慮しながら費用の平準化に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	相生駅南土地区画整理事業施行に伴い、住宅に困窮することとなった区域内の居住者のために建築した住宅であるため、事業対象用の住宅として維持管理しなければならない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた24年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	公募による一般入居を逐次行い、入居率の向上に努める。

配点	25
総合評価	19